

かわたな民報

第150号
2016年1月

日本共産党川棚支部

町議会議員 久保田かずえ

電話(833)2398

日本共産党川棚
支部の見解を紹介
します。

日本共産党の久保田かずえ町議は2015年12月議会でインフルエンザ予防接種の補助対象の拡大、骨髄移植ドナーへの支援、町非常勤職員の労働条件改善について一般質問をおこないました。

インフルエンザ予防接種

補助対象は中学生まで拡大を

久保田かずえ町議

インフルエンザの流行を前に、今シーズンの接種料金が、昨シーズンより大幅に値上げされました。

インフルエンザワクチンは完全に感染を阻止する効果はありませんが、予防や重症化防止に一定の効果があるとされています。

昨年の3価ワクチンから4価ワクチンに変更したことにより、防御範囲が広くなりましたが、製造価格が上がり前年度より500円値上げの4100円とな



久保田かずえ町議

補助対象の拡大については、補助額の設定や、接種率にかか

る財源の問題もあるが、子育て

支援、医療費の縮減も視野に入

れ、現在検討している。

久保田町議

中学生は大人と一緒に一回の接種で済みます。

中学校の生徒数で計算しても100万円以内で収まります。

子どもたちが健やかに育つように、また受験を安心して受けられるように体制を早く作って

いただきたいと思います。

町長

本町のインフルエンザ予防接種にかかる補助の内容は、65歳以上の人に対しては、公費2500円、自己負担1600円、小学生以下については公費2600円、自己負担1500円とな

っており、接種費用の500円増額された分については、本町は公費負担を増額し、接種者負担が増えないように配慮している。

補助対象の拡大については、補助額の設定や、接種率にかか

る財源の問題もあるが、子育て

支援、医療費の縮減も視野に入

れ、現在検討している。

久保田町議

中学生は大人と一緒に一回の接種で済みます。

中学校の生徒数で計算しても100万円以内で収まります。

子どもたちが健やかに育つように、また受験を安心して受けられるように体制を早く作って

いただきたいと思います。

骨髄移植ドナー支援の助成制度を

久保田かずえ町議

白血病をはじめとする血液疾患などのため、移植を必要とする全ての患者さんがチャンスを得るためにはドナー登録への協力が不可欠です。

そして、骨髄や、末梢血管細胞の提供には、4泊5日、5泊7日等の入院が必要になります。

提供のための通院、入院等に助成する考えはありませんか。

通院、入院費用などにかかる費用は、骨髄バンクQ&Aによりますと「ドナーの方の入院費は患者さんの保険で支払われます」と書かれており、ドナーの方に負担はかからないと理解している。

したがって、助成制度を設ける考えはない。

大村市では、入院に要した日数に対しては、1日2万円、通算7日を上限に助成しており、「ドナー休暇を設置している企業で払われるようになっていくところは当てはまりません」と

子どもの医療費 中学校卒業まで助成広がる

これまで、子どもの医療費は小学校入学前まででしたが、今年4月より中学校卒業まで拡大されました。

現物給付ではなく、いったん医療機関の窓口で保護者が支払い、手続きをして払い戻されるという「償還払」方式です。

保護者のみなさんが待ち望んでいたことが実現しました。

「助かります。うれしいです」と、お母さんたちから喜びの声が寄せられています。

なっています。

毎年2千人程の患者さんが発生する状況の中では是非新しい取り組みをしていただきたいと思

います。

今後、他市町の状況を調査して、対応していきたいと考えて

いる。

町長

ウラに続く



ウラに続く